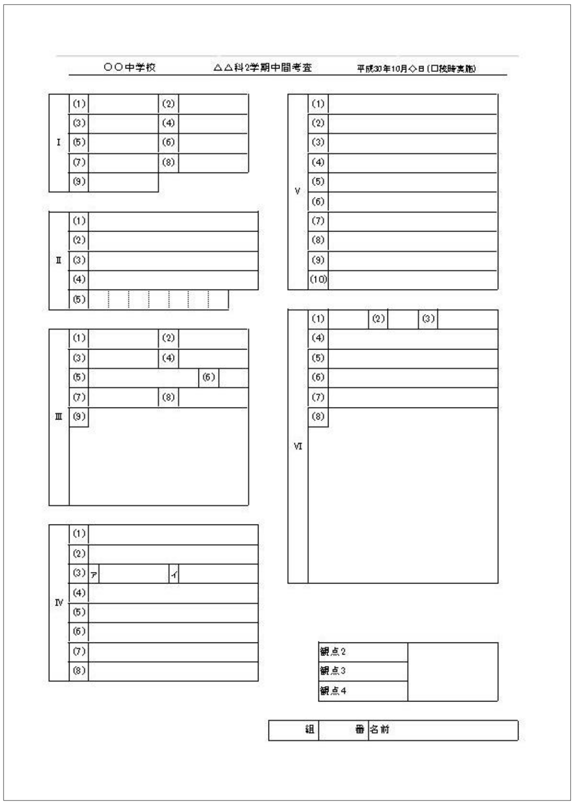
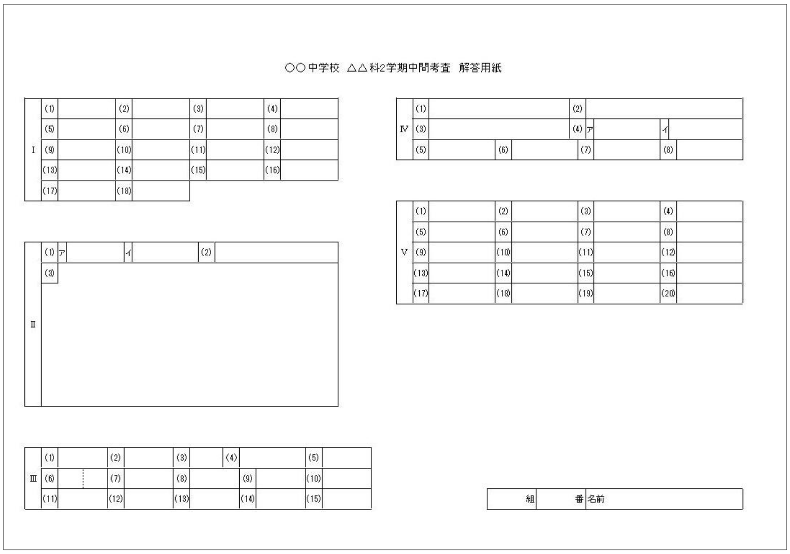
解答用紙作成シートの使い方
《ダイジェスト版》



←A4縦置きのシートで
作った解答用紙

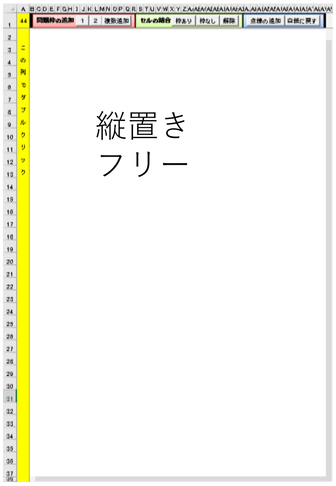
B4横置きのシートで
作った解答用紙　↓



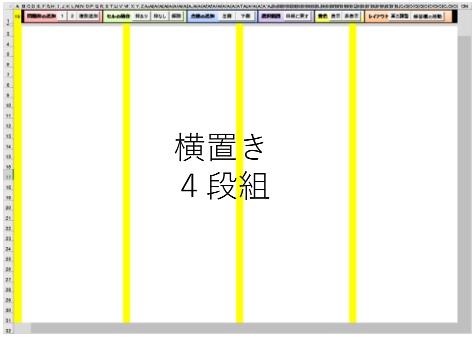
【１】　シートの種類・・・・・・・・・・p．1
【２】　共通の操作　・・・・・・・・・p．2
【３】　模範解答入りの解答枠を作る・・p．7
【４】　各ボタンの機能　　・・・・・・p .12

【1】　シートの種類

シートは大きく分けて、表紙の図のように
①　用紙を縦に置き解答を横書き（以下縦置き）
②　用紙を横に置き解答を横書き（以下横置き）
に分かれます
それぞれのシートには、下の図のように段組が設定されています



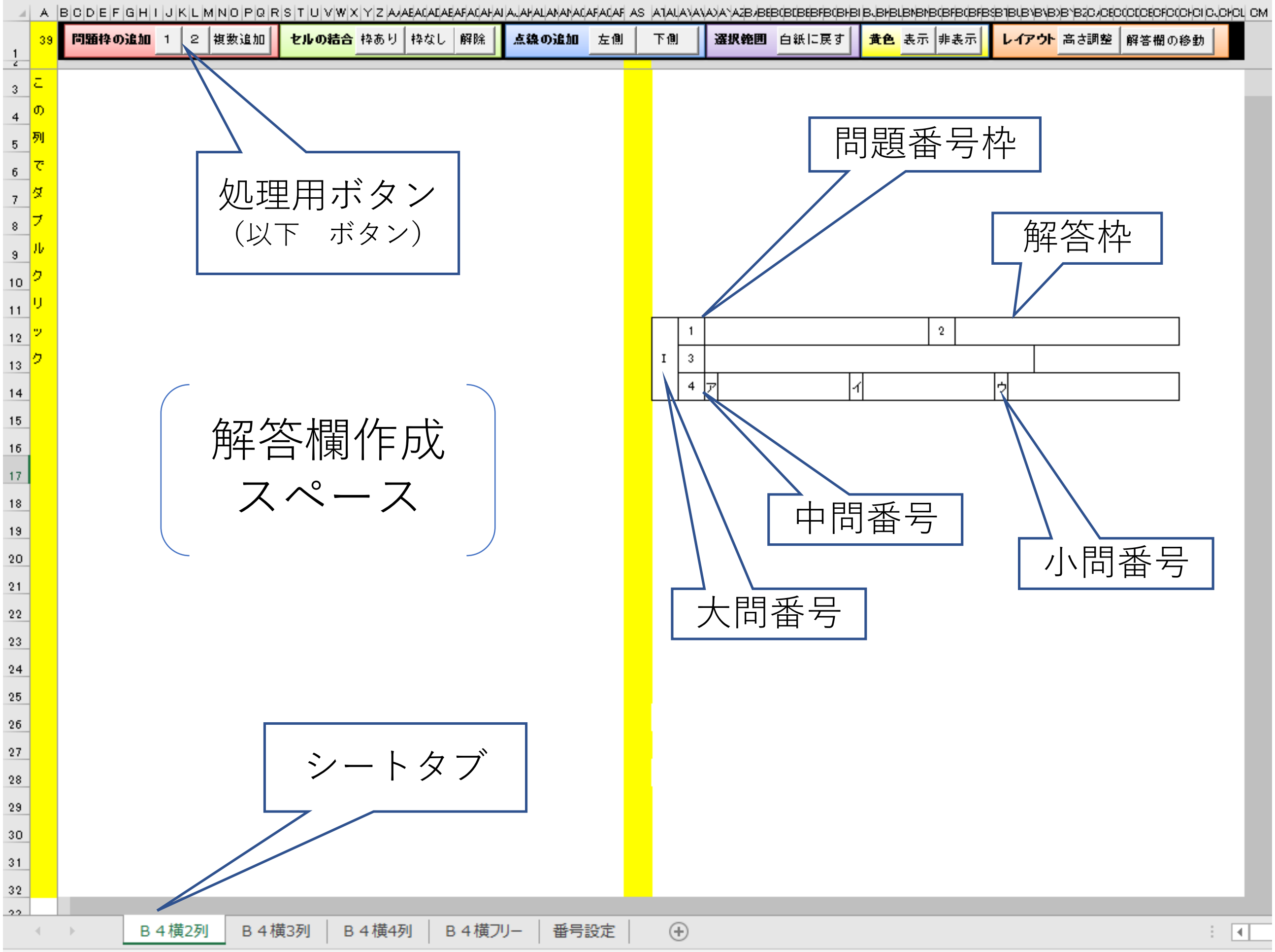
使い方はほとんど同じです。教科の特性や問題数、ご自身の形式等に合わせて使い分けてください

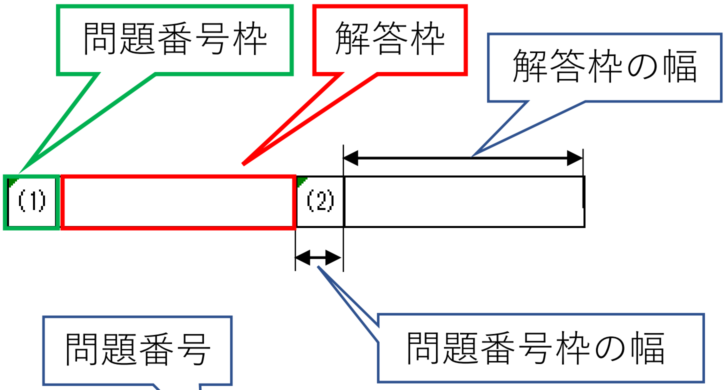


【２】　共通の操作

ここでは、横置き２段組を例に説明します

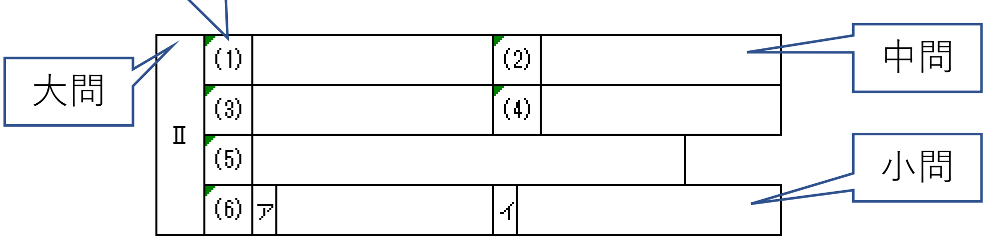
名称の定義





問題番号を入力する枠を【問題番号枠】
解答を記入する枠を【解答枠】
と呼ぶことにします
問題番号枠の大きさは枠線１マス分と
２マス分の２種類があります

通常の問題を【中問】
中問が集まった解答欄を【大問】
中問を細かく分けた問題を【小問】
と呼ぶことにします

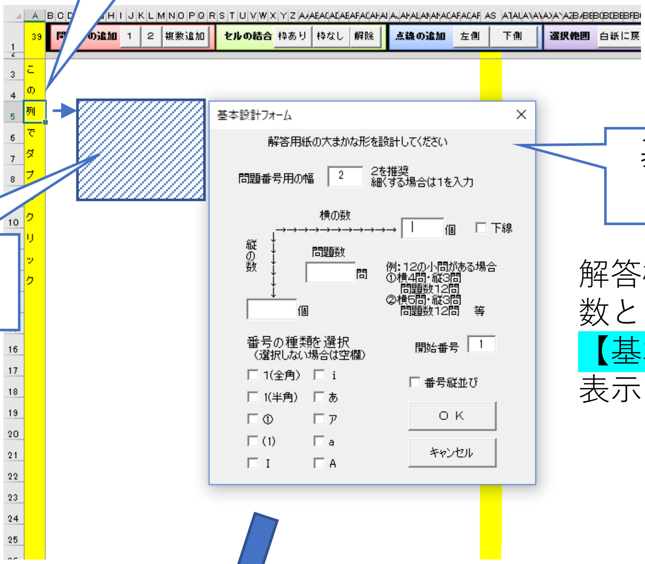


基本的な操作

①中間を自動作成する

このシートの中心機能で、全シートに共通する操作です

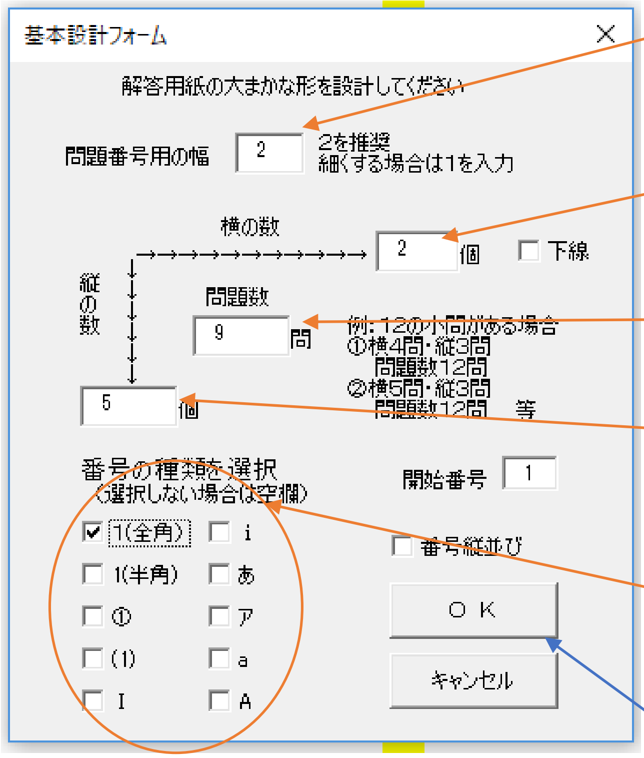
解答欄を作りたい行の黄色いセルをダブルクリック



解答欄ができる場所

基本設計フォーム

解答欄の個数を縦・横の数と問題数を入力する【基本設計フォーム】が表示されます



問題番号枠の幅を指定
標準で２が入力されています

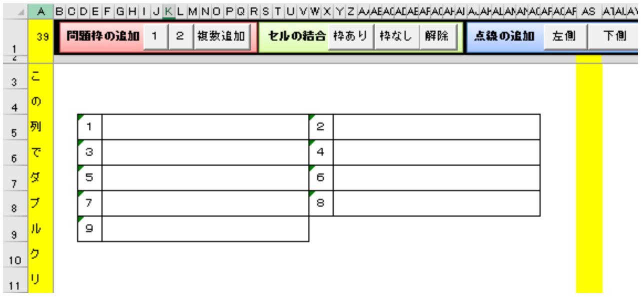
解答欄が横にいくつ並ぶかを指定

問題の総数を入力

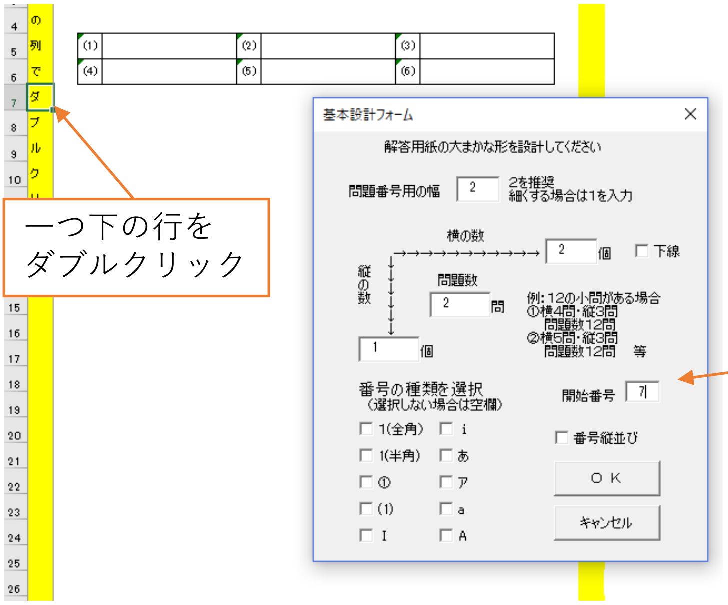
解答欄が縦にいくつ並ぶかを指定

問題番号の種類を指定
★該当する記号がなければ設定する
→Ｐ　　参照

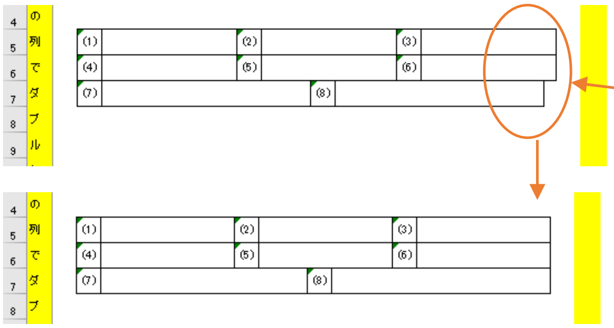
設定が終われば【ＯＫ】をクリック



前ページのように、
横２、縦５、問題数９、
番号は全角数字
と、指定した場合、左の図のように解答欄が作成されます

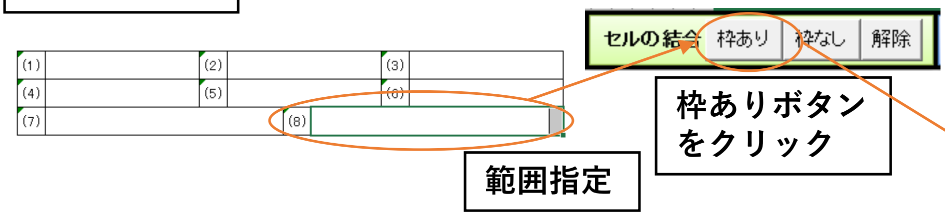


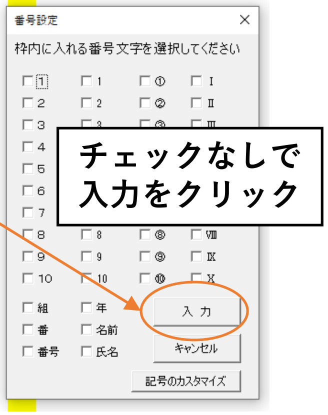
6番までが横に3問、7番以降が横に2問のように、途中で横並びの問題数が変わる場合は、基本設計ホームの開始番号を変更することで、途中の番号から入力されます



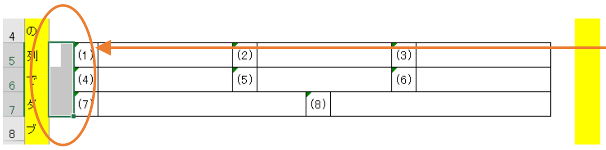
解答欄作成スペースの幅内で均等に解答枠の幅を設定する関係で解答欄の後ろのラインがずれることがあります。
短い方を移動させて調整してください。

揃え方の基本

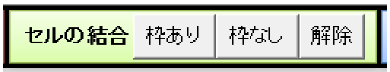




②大問番号枠を作る

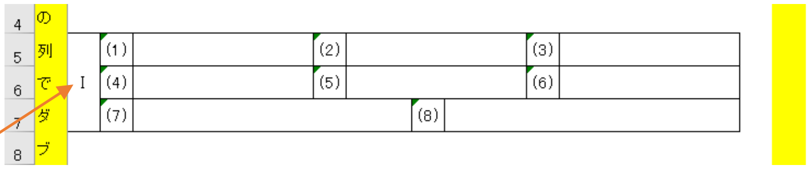


左図の様に大問番号枠の範囲を指定します



の、枠ありボタンをクリック

番号設定のフォームが表示されるので、番号にチェックを入れて入力ボタンをクリック



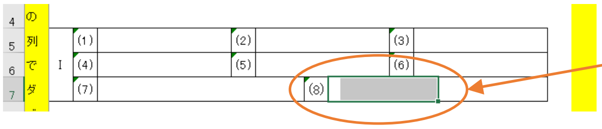
この部分をチェックすることで、名前記入欄も作成できます

組	番	名前

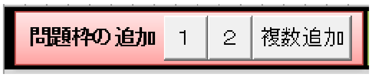
3回に分けて作業します

範囲指定後　組　にチェック
範囲指定後　番　にチェック
範囲指定後　名前　にチェック

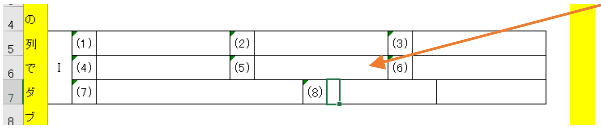
③小問を作る



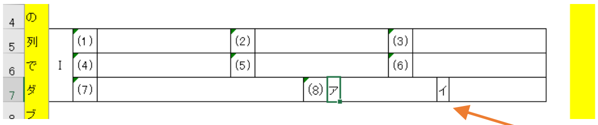
小問を作りたい場所を範囲指定します



の、１ボタンをクリック

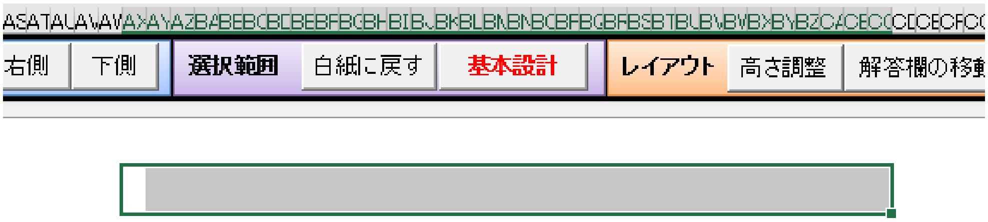


図のように罫線が引かれます
同様に次の小問も作成



問題番号枠に記号を入力
枠が狭くて文字が入らない（罫線が消える）場合は、文字サイズを下げて調整します

④任意の場所に解答枠を作る（フリーのシートのみ）

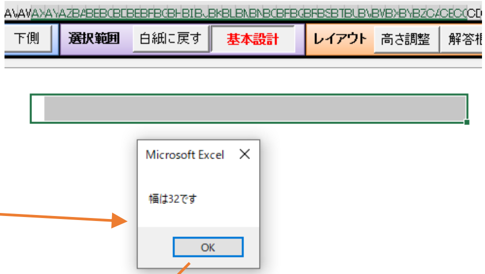


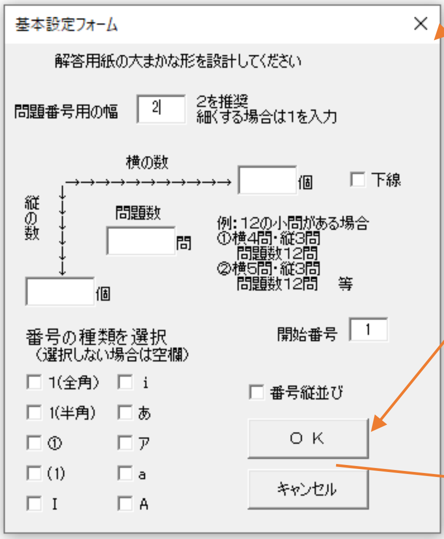
上図の様に解答欄を作りたい範囲を指定します

1番上行のみで作りたい幅を指定します

基本設計ボタンをクリック

幅の確認がされます





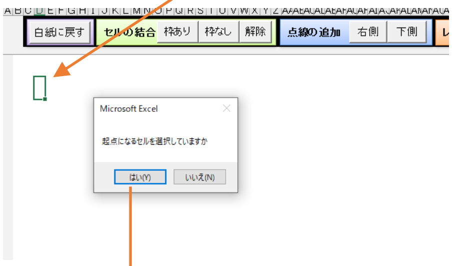
基本設定フォームが表示されるので、必要事項を指定（P5参照）してOKをクリックします

指定した場所に解答枠が作られます

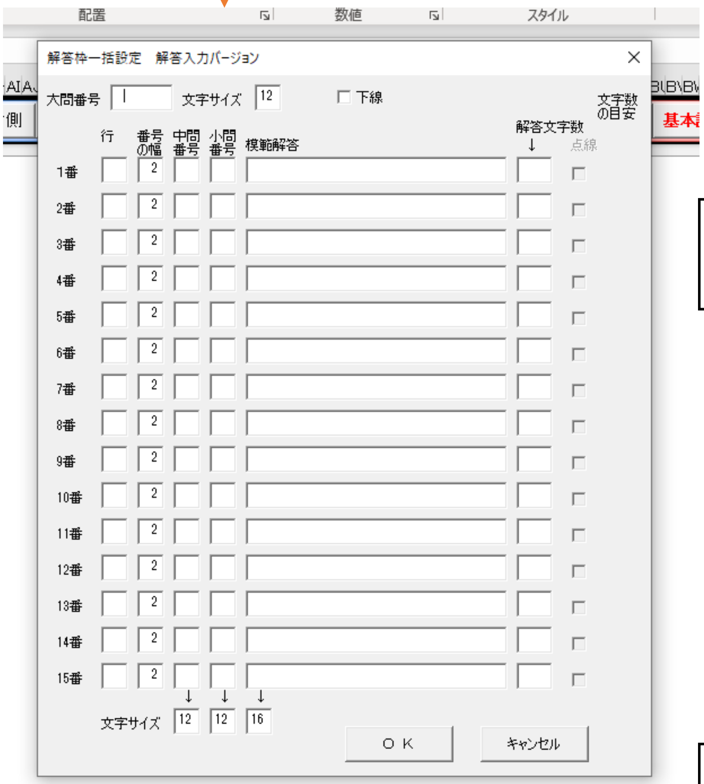
【3】　模範解答入りの解答枠を作る

（B4横置き　フリーのシートのみ）

①解答枠を作る一番左上のセルを選択します
②一括作成ボタン（青字）をクリック



起点のセルを選択しているかの確認があります



詳細を設定するフォームが表示されます

模範解答を含め、問題番号や小問、何行目か、文字サイズ等を入力します

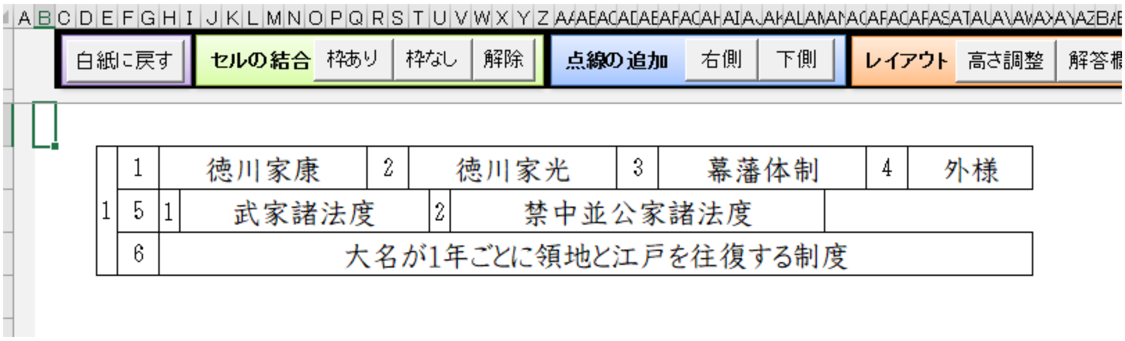
次ページの例参照

解答枠一括設定　解答入力バージョン

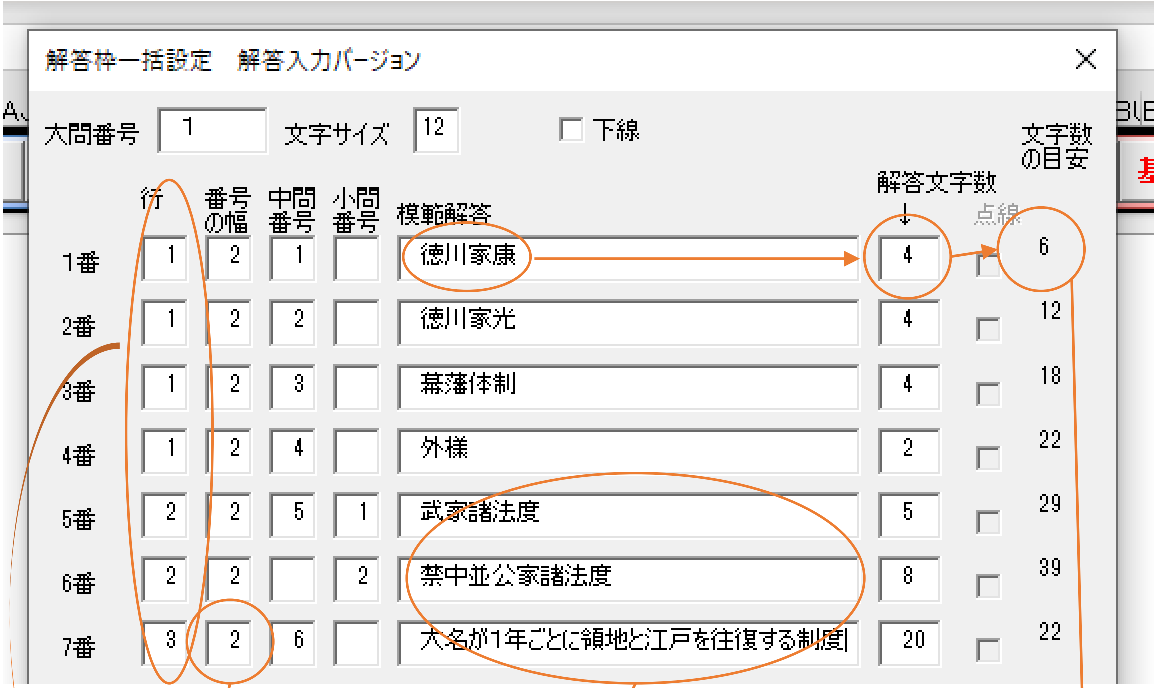
大問番号 1　文字サイズ 12　☐ 下線

	行	番号の幅	中問番号	小問番号	模範解答	解答文字数	点線	文字数の目安
1番	1	2	1		徳川家康	4	☐	6
2番	1	2	2		徳川家光	4	☐	12
3番	1	2	3		幕藩体制	4	☐	18
4番	1	2	4		外様	2	☐	22
5番	2	2	5	1	武家諸法度	5	☐	29
6番	2	2		2	禁中並公家諸法度	8	☐	39
7番	3	2	6		大名が1年ごとに領地と江戸を往復する制度	20	☐	22
8番		2					☐	
9番		2					☐	
10番		2					☐	
11番		2					☐	
12番		2					☐	
13番		2					☐	
14番		2					☐	
15番		2					☐	
文字サイズ			12	12	16			

ＯＫ　キャンセル



1	1	徳川家康	2	徳川家光	3	幕藩体制	4	外様		
	5	1	武家諸法度	2	禁中並公家諸法度					
	6	大名が1年ごとに領地と江戸を往復する制度								



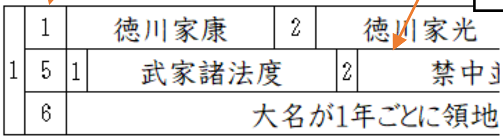
行の設定

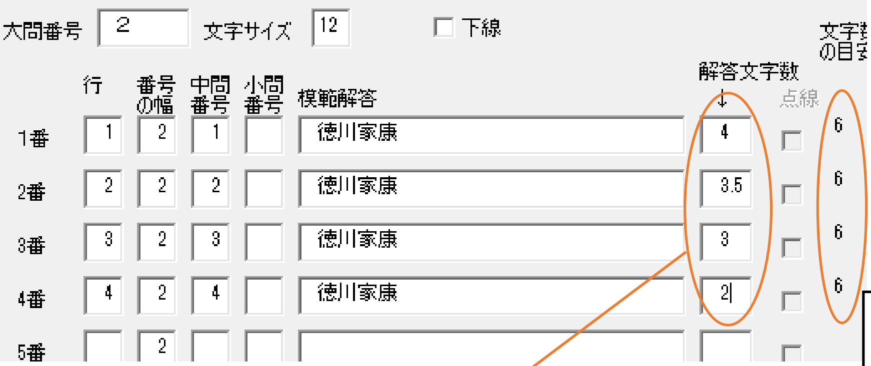
２セル分の幅

解答が入力される

解答の字数＋２文字分で枠を作ります。行当たりの文字数の合計を表示します

解答文字数のボックスに字数を入力することで調整できます



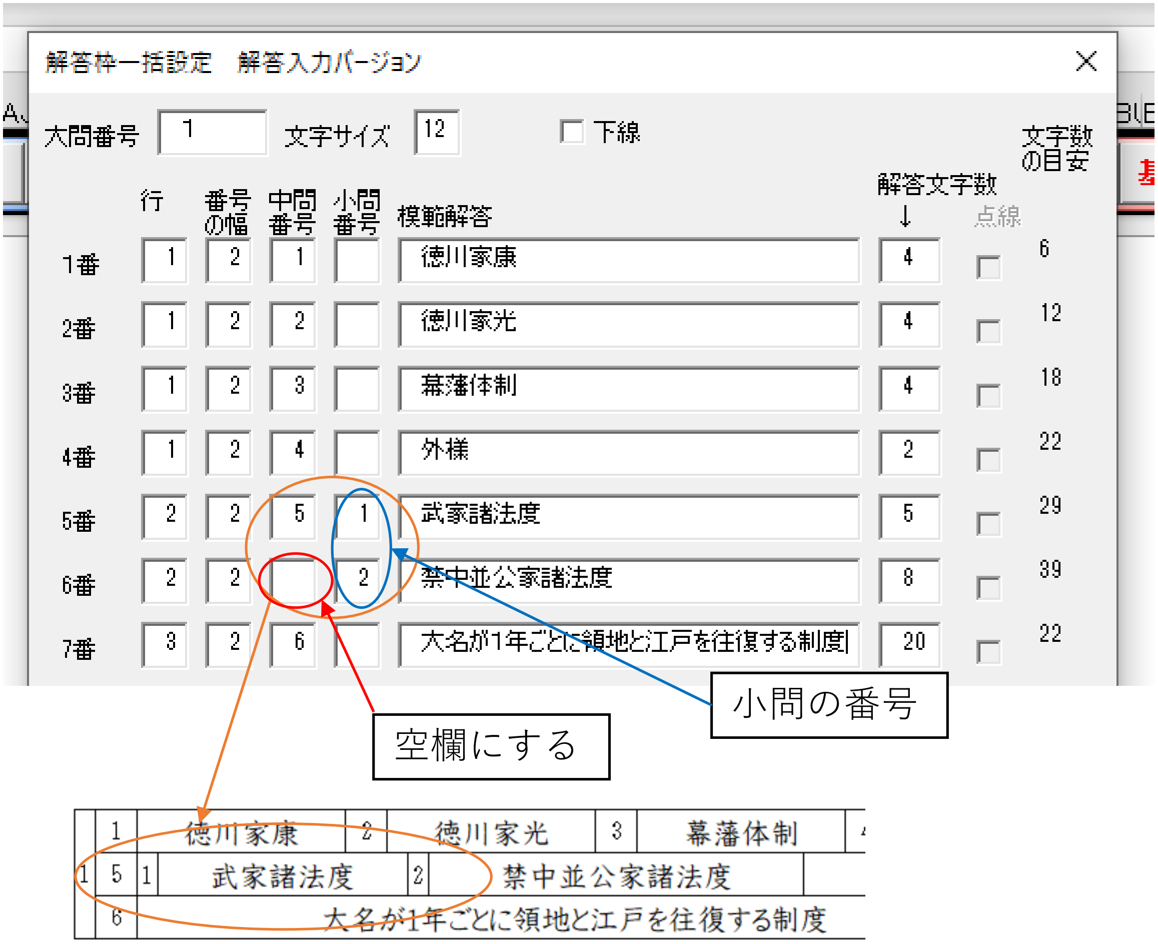


【注】
解答文字数＋２のままです

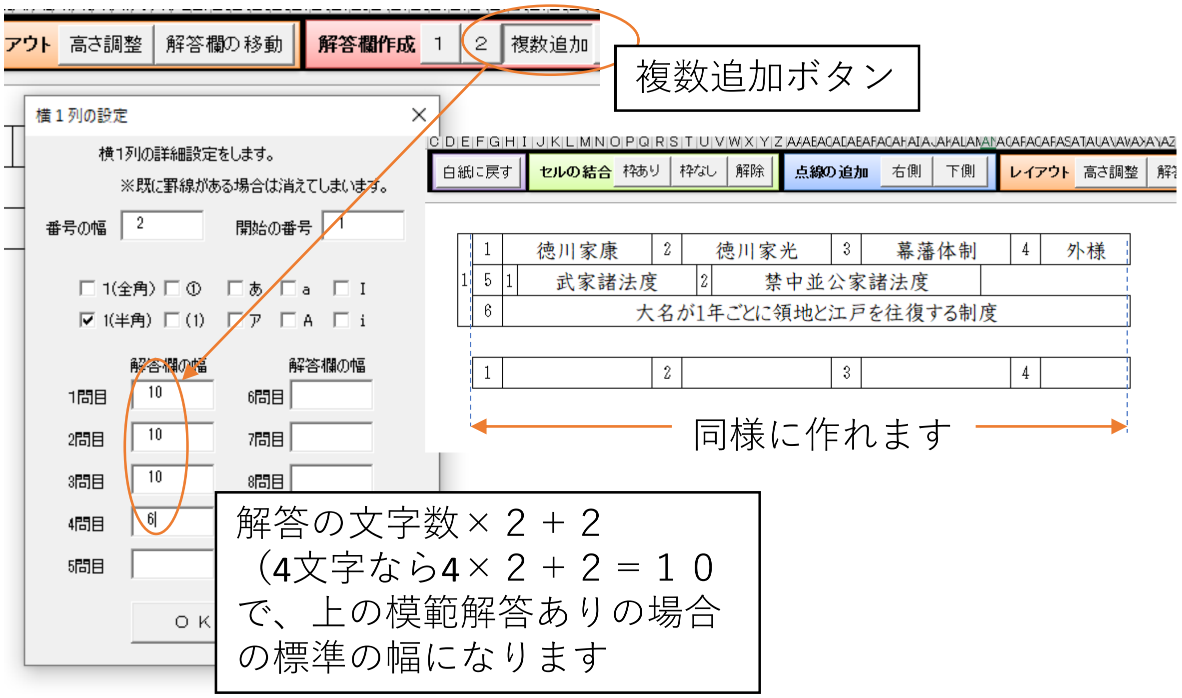
0.5刻みで設定できます

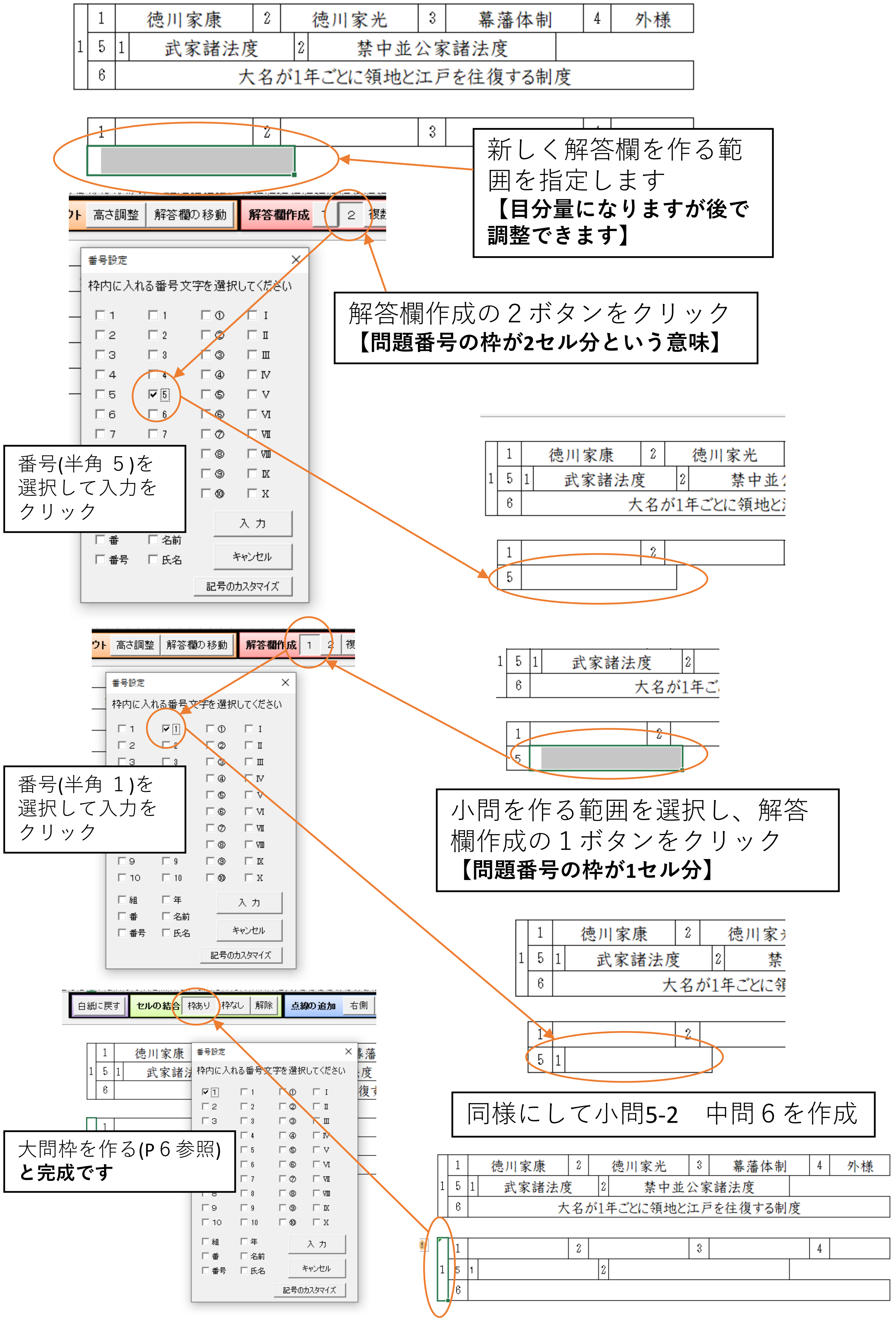
後から調整できます

★小問の設定は次ページ



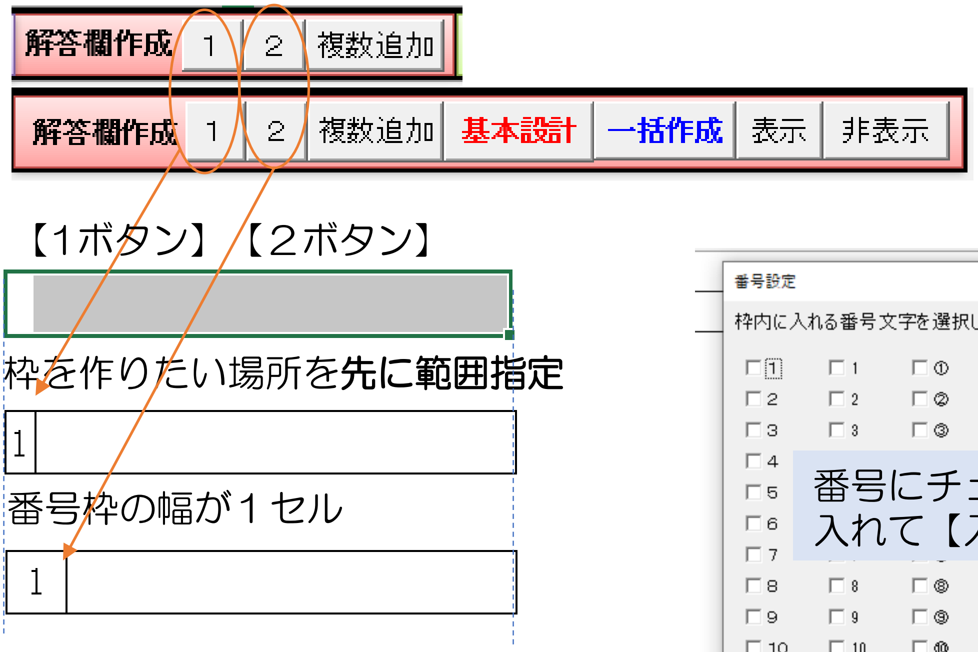
空欄の解答欄でいい場合



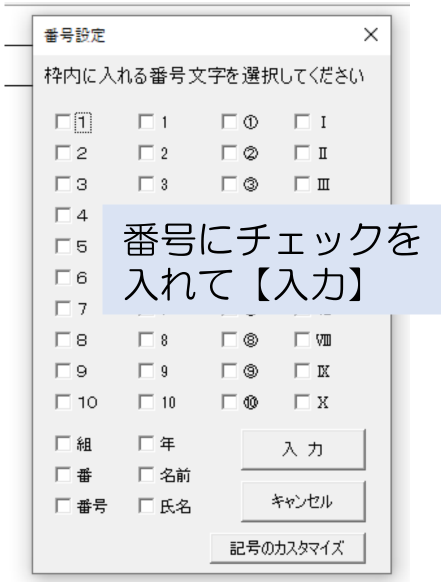

1 徳川家康 2 徳川家光 3 幕藩体制 4 外様
5 1 武家諸法度 2 禁中並公家諸法度
6 大名が1年ごとに領地と江戸を往復する制度
新しく解答欄を作る範囲を指定します
【目分量になりますが後で調整できます】
解答欄作成の２ボタンをクリック
【問題番号の枠が2セル分という意味】
番号(半角 5)を選択して入力をクリック
小問を作る範囲を選択し、解答欄作成の１ボタンをクリック
【問題番号の枠が1セル分】
番号(半角 1)を選択して入力をクリック
同様にして小問5-2　中問６を作成
大問枠を作る(P６参照)
と完成です
高さ調整
解答欄の移動
解答欄作成
番号設定
枠内に入れる番号文字を選択してください
入 力
キャンセル
記号のカスタマイズ
白紙に戻す
セルの結合
枠あり
枠なし
解除
点線の追加
右側

【4】 各ボタンの機能

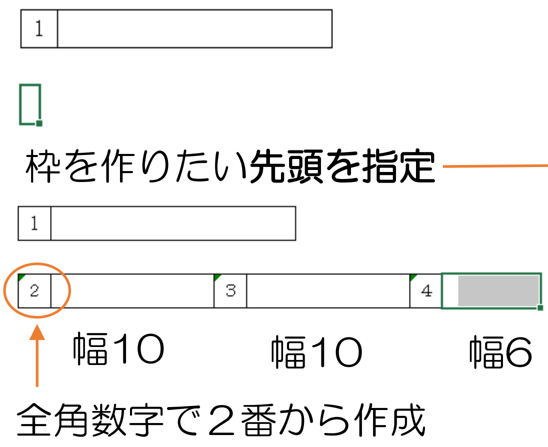
（シートによって、配置されている場所が違う場合がありますが、
ボタンの機能は同じになります）

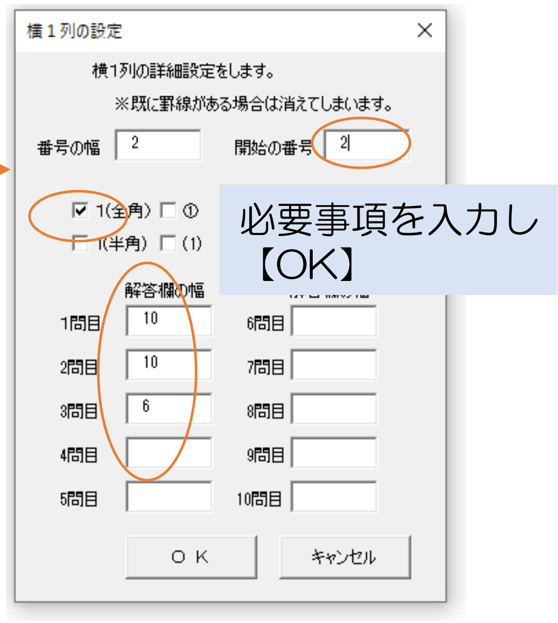


番号枠の幅が１セル



【複数追加ボタン】



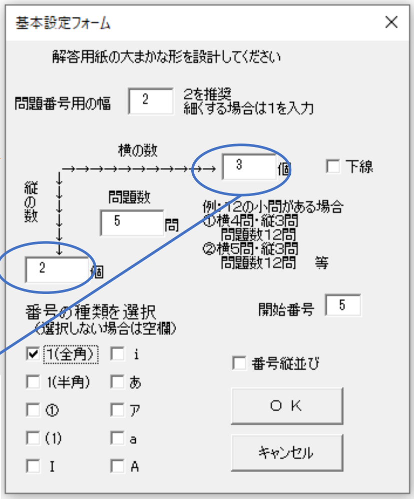


【基本設計ボタン】

2		3		4	

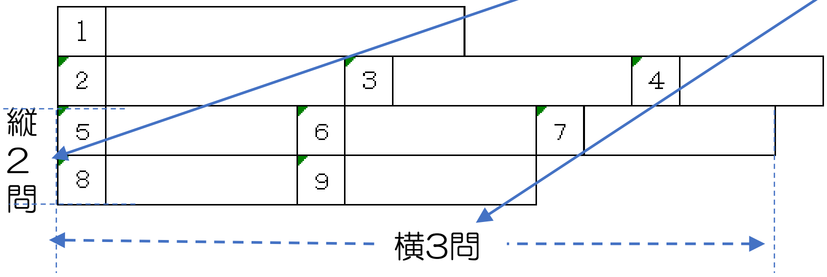
枠を作りたい場所を**先に範囲指定**

範囲指定した幅が表示されます
問題数で均等割するので、割り切れない場合は切り捨てされます



必要事項を入力し【OK】

幅32に対して、横３問なので
32÷3=10・・・2
2は切り捨てて１問の幅は問題番号の幅を合わせて10になります



【一括作成ボタン】 【表示・非表示ボタン】

一括作成はP7参照

2	1	山	2	川
	3	海	4	陸

→

2	1		2	
	3		4	

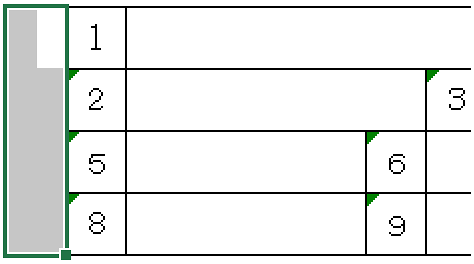
↓

2	1	山	2	川
	3	海	4	陸

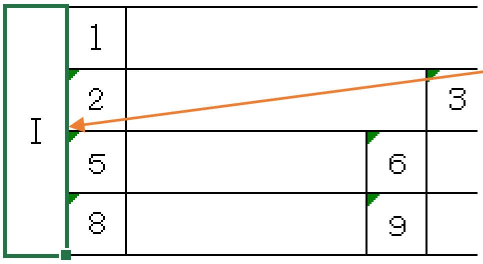
一括作成で作った模範解答は【非表示ボタン】で非表示になります。印刷前にクリックしてください。
【表示ボタン】で再び表示されます

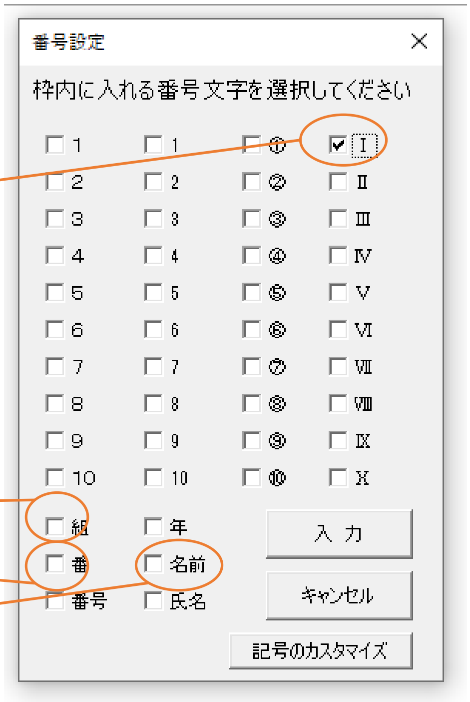
セルの結合に関する機能

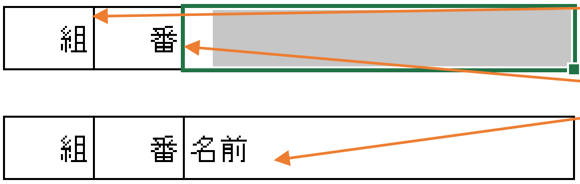
【枠ありボタン】
枠を作りたい場所を**先に範囲指定**

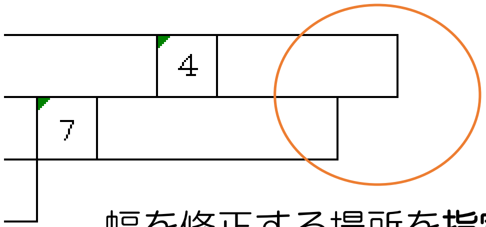


指定した範囲のセルを結合して
選択した文字を入力します
大問や名前欄で使用します

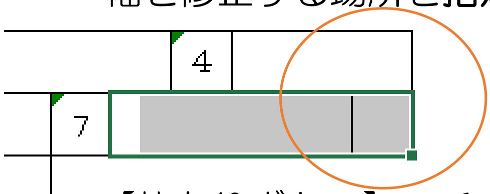




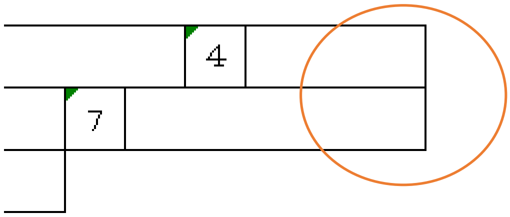




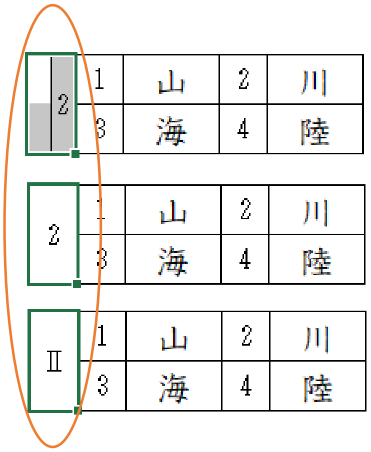
幅を修正する場所を**指定**



【枠ありボタン】⇒チェックを入れずに【入力】



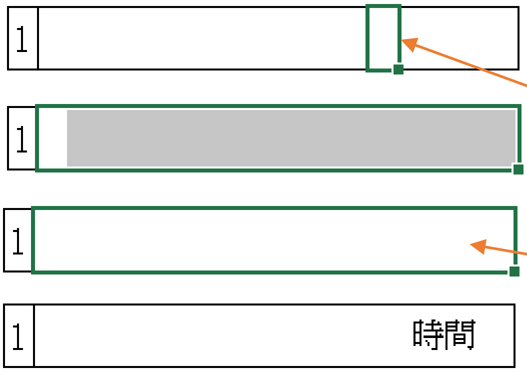
解答欄の幅を調整する
ときにも使うことがで
きます



大問の幅を広くしたいときも【枠ありボタン】で作業できます。チェックなしで【入力】の場合番号はそのまま、番号を指定すると、指定した番号になります

【枠ありボタン】は他にも工夫次第で色々役に立ちます

【枠なしボタン】



指定した範囲のセルを結合するボタンです
模範解答入りの解答欄以外は、セル結合されていないので、
あとから解答や単位を入力しようとするときの作業がしやすいように、セルを結合します

【解除ボタン】

結合されているセルを元に戻します

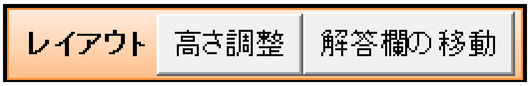
【白紙に戻すボタン】

不要になったり、やり直したりするときに範囲指定したところの、罫線、セルの結合、文字のすべてを消去します

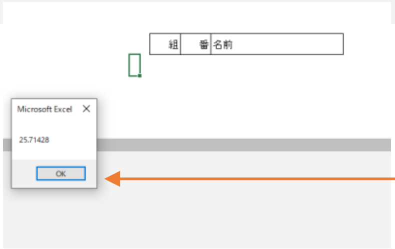
消去したい場所を**先に範囲指定**
【白紙に戻すボタン】をクリック

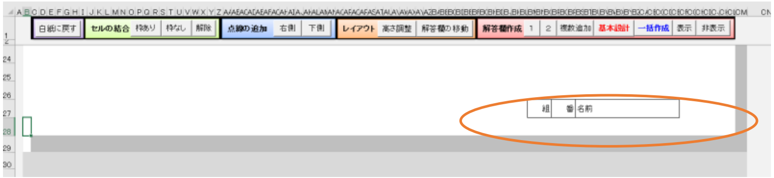
注意！
一度消してしまった解答欄は、元に戻りません

レイアウトに関する機能



【高さ調整ボタン】

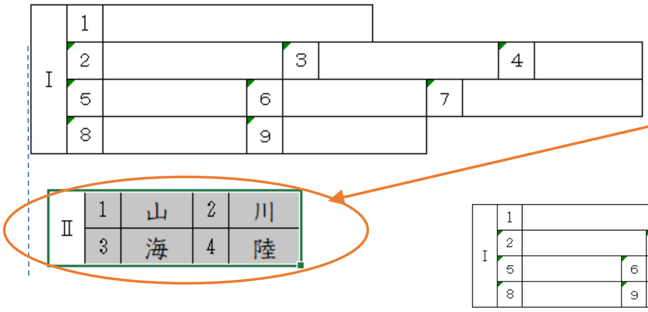




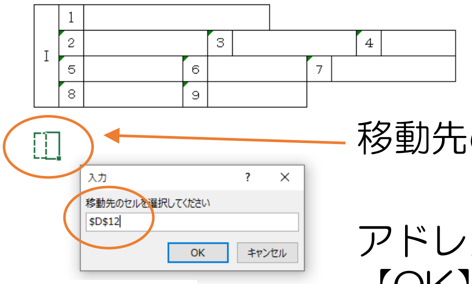
当初用紙の縦は
B4横置きで31行目、
A4縦置きで３７行目まで
を解答欄の作成範囲にしていますが、そこまで使わなかったなった場合に、一番下の行にカーソルを置き【高さ調整ボタン】をクリックすると、１行の高さを変更して、用紙に収まるようにします。

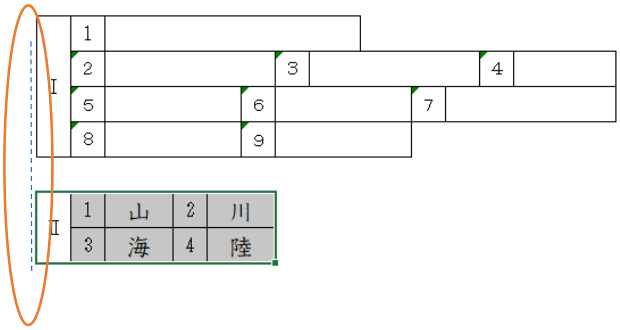
注意！
用紙の範囲を超えてしまった場合も、同様にしますが、用紙の外のグレーの部分はそのまま残ります。（今後改善予定）ご自身で、白くしてお使いください。

【解答用紙の移動ボタン】



移動させたい解答欄を範囲指定します
【解答用紙の移動ボタン】をクリック



移動先のセルを選択します

アドレスが表示されるので【OK】